



2024年3月期 決算説明会

シスメックス株式会社
2024年5月9日

Together for a better
healthcare journey

Index

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 決算概要
3. 成長戦略の進捗と取り組み
4. 2025年3月期 業績予想
5. 資本コストを意識した経営の取り組み

(補足資料)

- ・トピックス
- ・XR™シリーズ（ヘマトロジー分野）導入スケジュール

- ・ 当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・ 2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。
- ・ 本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

1. エグゼクティブサマリー

2024年3月期実績

増収増益を達成、売上高・営業利益・当期利益ともに過去最高

前年同期比 売上高：112.4%、営業利益：106.4%、当期利益：108.4%

- 新製品上市効果や新興国の成長機会の獲得により、全地域で増収を達成、ビジネスは好調に推移
- 現地通貨ベースで、中国は2桁伸長、APは3期連続の2桁伸長を達成

2025年3月期 業績予想

市場環境は良好であり、グローバルで成長継続し、売上高は2桁伸長（+10.5%） 社内デジタル化など費用増加はあるものの、営業利益も2桁伸長（+11.0%）

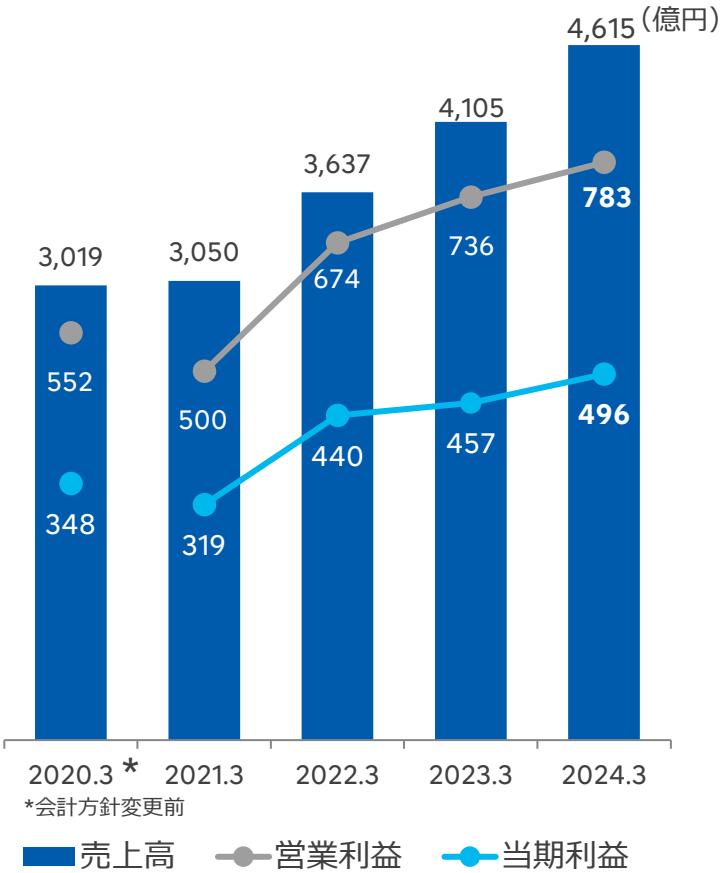
- 血液凝固分野の欧米での自社販売開始や、市場成長が見込まれる新興国が引き続き成長をけん引
- インド新工場設立や社内デジタル化など、次のステージに向けた投資を継続
- 手術支援ロボットシステム hinotori™はグローバル展開開始など、収益化に向け新たなステージへ

2. 2024年3月期 決算概要

決算総括：売上高・営業利益・当期利益ともに過去最高を達成



(億円)	2024年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	4,615.1	100.0%	4,105.0	100.0%	112.4%
売上原価	2,190.1	47.5%	1,944.1	47.4%	112.6%
販売費及び一般管理費	1,337.9	29.0%	1,123.7	27.4%	119.1%
研究開発費	314.0	6.8%	310.6	7.6%	101.1%
その他の営業損益	10.8	0.2%	10.3	0.3%	105.6%
営業利益	783.8	17.0%	736.7	17.9%	106.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	496.3	10.8%	457.8	11.2%	108.4%



- **売上高**：中国、APが2桁伸長するなど全地域で増収、過去最高を達成
- **営業利益**：販管費はインフレ影響などを受けるも、増収による粗利の増加により、増益
 - ✓ **その他営業損益**：4Q単四半期に18.5億円の減損損失が発生
 - ✓ **為替の影響**：売上高 +208.9億円、販管費 +63.4億円、営業利益 +87.0億円
 - ✓ **前年同期為替レート適用の場合**：売上高 107.3%、販管費113.4%、営業利益 94.6%
- **当期利益**：+8.4%の増益 為替差損益：+5.1億円（前年同期比+18.5億円）

	2024年3月期	前年同期
1USD	144.6円	135.5円
1EUR	156.8円	141.0円
1CNY	20.1円	19.8円

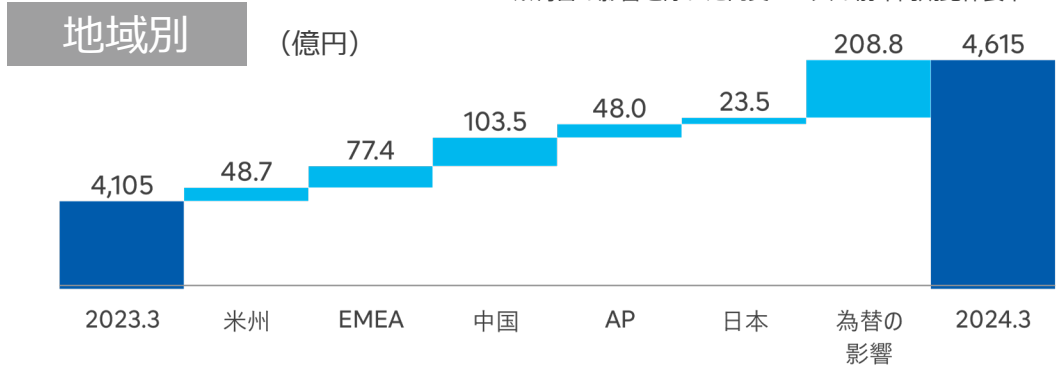
売上高の増減要因（地域別・品目別）



全地域で増収を達成し、グループ売上は2桁伸長

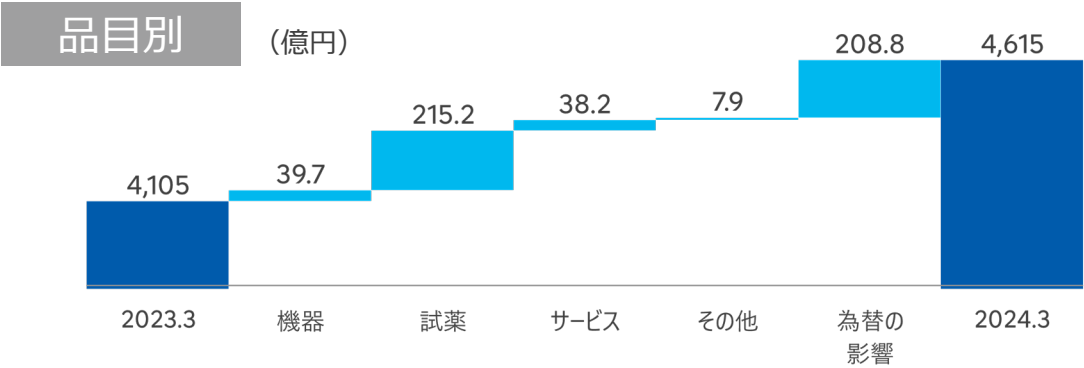
(億円)	2024年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	4,615.0	100.0%	112.4%	107.3%※
米州	1,187.8	25.7%	112.2%	105.0%
EMEA	1,274.8	27.6%	114.5%	102.8%
中国	1,099.5	23.9%	113.5%	110.8%
AP	431.0	9.3%	118.1%	113.1%※
日本	621.8	13.5%	103.9%	-
機器	1,009.5	21.9%	110.0%	104.3%※
試薬	2,808.4	60.9%	113.5%	108.7%※
サービス	614.4	13.3%	113.1%	107.0%※
その他	182.6	4.0%	108.6%	104.7%※

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率



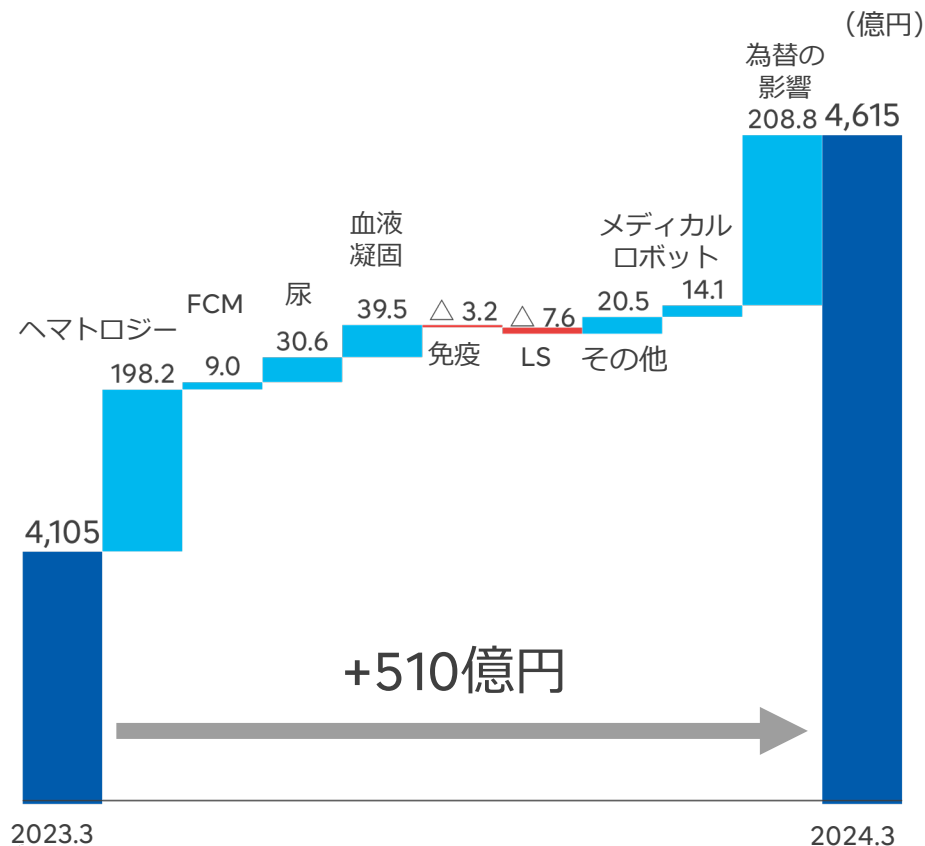
地域別の主な増減要因

米州	・ ヘマトロジー・尿分野を中心に好調に推移し、 増収を達成
EMEA	・ 直販化したスペインや新興国のサウジアラビアなどの伸長が、特殊要因（ロシア・COVID-19）を補い、 増収を達成
中国	・ ヘマトロジー分野の試薬が伸長した他、血液凝固・尿分野の試薬伸長もあり 2桁増収を達成。売上高1,000億円規模に成長
AP	・ 各国のビジネスは好調に推移、機器・試薬ともに全分野において伸長し、 2桁増収を達成
日本	・ COVID-19関連検査需要の減少の影響を受けるも、ヘマトロジー・尿・血液凝固分野が好調に推移。メディカルロボット事業も伸長し、 増収を達成



売上高の増減要因（事業別・分野別）

事業別・分野別売上高



COVID-19関連検査（ライフサイエンスと免疫およびその他に含まれる）

2024.3期：26.7億円（国内のみ）

（参考）2023.3期：61.9 億円（国内56.6億円、海外5.3億円）

新興国におけるヘマトロジー・尿分野の伸長や、中国の現地生産化によるヘマトロジー分野の機器伸長、血液凝固分野における試薬伸長もあり、増収

(億円)	2024年3月期		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	4,615.1	100.0%	112.4%	107.3%
ヘマトロジー	2,749.1	59.6%	113.9%	108.2%
FCM	33.1	0.7%	146.7%	139.9%
尿	390.3	8.5%	114.6%	109.0%
血液凝固	729.3	15.8%	109.0%	105.9%
免疫	236.4	5.1%	100.3%	98.6%
生化学	33.7	0.7%	98.6%	95.9%
ライフサイエンス	205.0	4.4%	102.9%	96.1%
その他	200.3	4.3%	120.0%	113.1%
ダイアグノスティクス事業	4,577.6	99.2%	112.2%	107.0%
メディカルロボット事業	37.4	0.8%	160.5%	160.5%

2024年3月期 単四半期業績推移

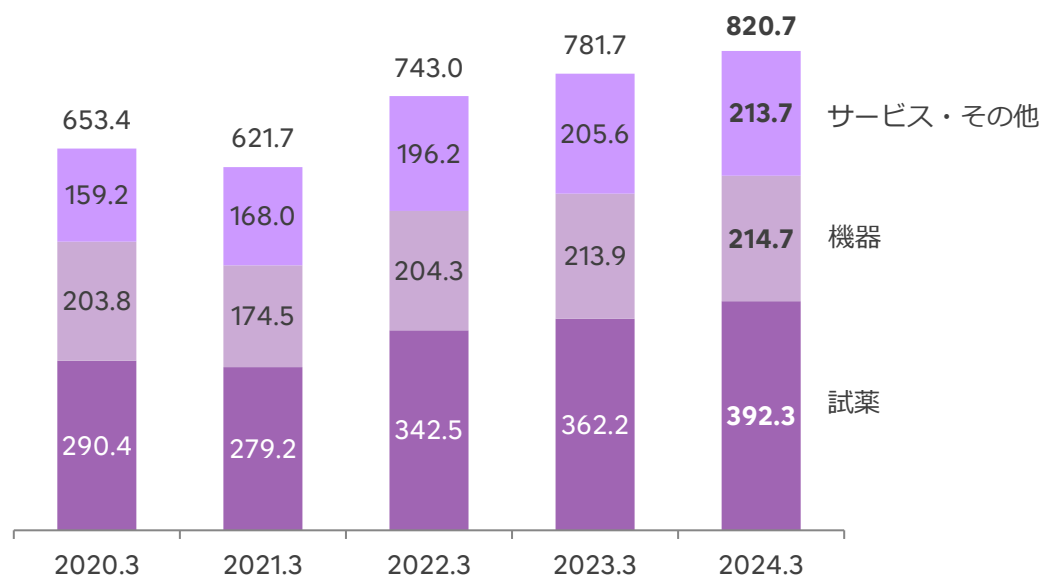
4Q単四半期は全地域が好調に推移し、売上高、営業利益ともに大幅伸長

	1Q (4月-6月)			2Q (7月-9月)			3Q (10月-12月)			4Q (1月-3月)		
		構成比	対前年 伸長率		構成比	対前年 伸長率		構成比	対前年 伸長率		構成比	対前年 伸長率
売上高	953.5	100.0%	110.8%	1,173.4	100.0%	108.7%	1,138.2	100.0%	108.7%	1,349.8	100.0%	120.8%
売上原価	449.4	47.1%	104.4%	567.4	48.4%	108.3%	530.6	46.6%	109.7%	642.6	47.6%	127.1%
販売費及び 一般管理費	301.4	31.6%	119.8%	324.4	27.6%	116.6%	332.5	29.2%	116.4%	379.4	28.1%	123.1%
研究開発費	71.3	7.5%	103.1%	78.8	6.7%	103.5%	82.0	7.2%	108.9%	81.8	6.1%	91.0%
その他営業損益	1.4	0.2%	89.7%	2.6	0.2%	13.6%	10.9	1.0%	109.4%	△4.2	△0.3%	-
営業利益	132.7	13.9%	120.1%	205.4	17.5%	93.0%	203.8	17.9%	96.1%	241.7	17.9%	125.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	86.2	9.0%	107.4%	135.6	11.6%	85.0%	122.7	10.8%	109.7%	151.7	11.2%	143.2%

米州（地域別）

(Million USD)	2024年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	820.7	781.7	105.0%	112.2%
機器	214.7	213.9	100.4%	107.4%
試薬	392.3	362.2	108.3%	115.7%
サービス・その他	213.7	205.6	103.9%	110.9%

売上高推移（Million USD）



ヘマトロジー・尿分野の試薬の伸長が、血液凝固分野の機器低調を補い、増収

● 機器

✓ヘマトロジー分野がカナダおよび中南米で伸長した他、尿分野が中南米で伸長も、血液凝固分野はシーメンス社への販売減速により、横ばい

● 試薬

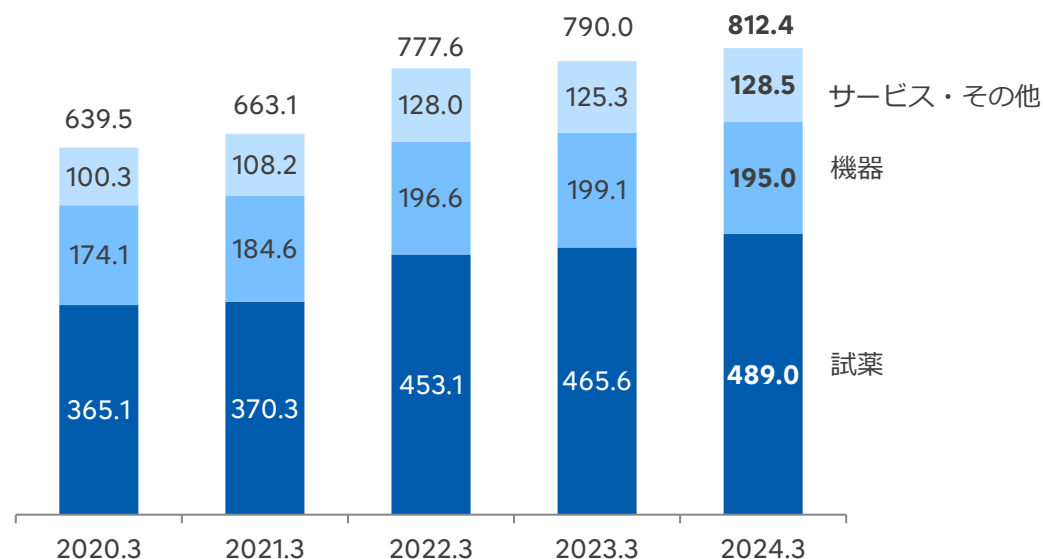
✓ヘマトロジー・尿分野において、北米、中南米ともに伸長し、増収

✓大手検査センター（Labcorp）LDT向けの血液中のアミロイドβ検査試薬も、堅調に推移（2.2 Million USD）

EMEA (地域別)

(Million EUR)	2024年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	812.4	790.0	102.8%	114.5%
機器	195.0	199.1	97.9%	109.0%
試薬	489.0	465.6	105.0%	116.9%
サービス・その他	128.5	125.3	102.5%	114.0%

売上高推移 (Million EUR)



直販化したスペインやサウジアラビアが伸長し、ロシアの大幅減収を補い、増収

※通期：特殊要因（ロシア・COVID-19）の影響を除くと現地通貨ベースで+7.2%伸長。

※4Q単：新興国の伸長やロシア影響がなくなったことにより、現地通貨ベースで+14.2%伸長

● 機器

✓ヘマトロジー分野がサウジアラビアやイギリスなどで伸長したものの、前年イタリアで大型案件を獲得した影響やロシアでの減収もあり、現地通貨ベースでは減収

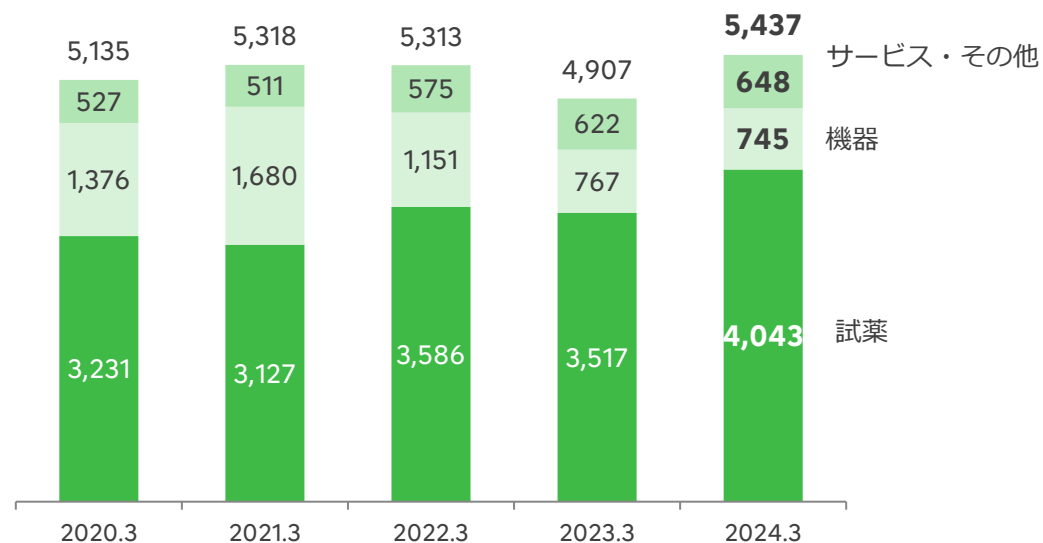
● 試薬

✓サウジアラビアやスペイン、ポーランドなどでヘマトロジー分野が伸長した他、イタリアで機器設置台数増加などにより伸長し、増収

中国（地域別）

(Million CNY)	2024年3月期	前年同期	前年同期比	
			現地通貨ベース	円ベース
売上高	5,437.4	4,907.6	110.8%	113.5%
機器	745.0	767.7	97.0%	99.2%
試薬	4,043.9	3,517.5	115.0%	117.7%
サービス・その他	648.4	622.4	104.2%	106.9%

売上高推移（Million CNY）



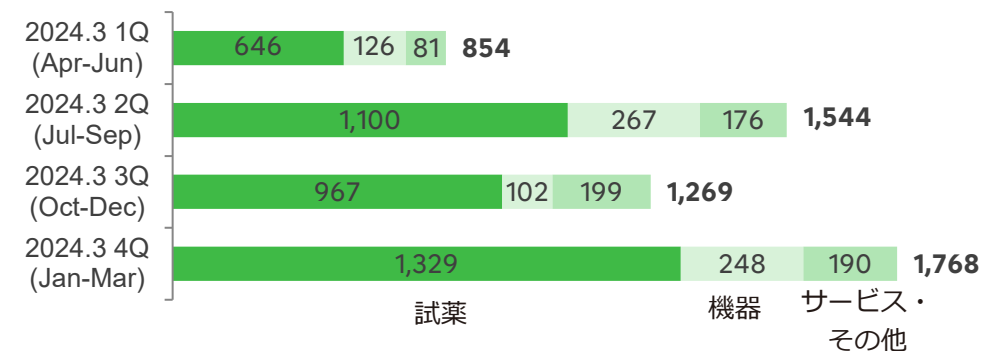
検査数の回復や現地生産品の拡大により、売上高は2桁増収を達成し、コロナ禍前の水準を超える

● 機器

✓ 現地生産品の拡大を進めたヘマトロジー分野が2桁伸長も、国産優遇施策の影響を受けた尿・血液凝固分野が減収し、微減 ※2025.3月期は現地生産品の拡大効果により回復見込み

● 試薬

✓ ヘマトロジー・尿・血液凝固分野の2桁伸長に続き、免疫分野も伸長し、増収

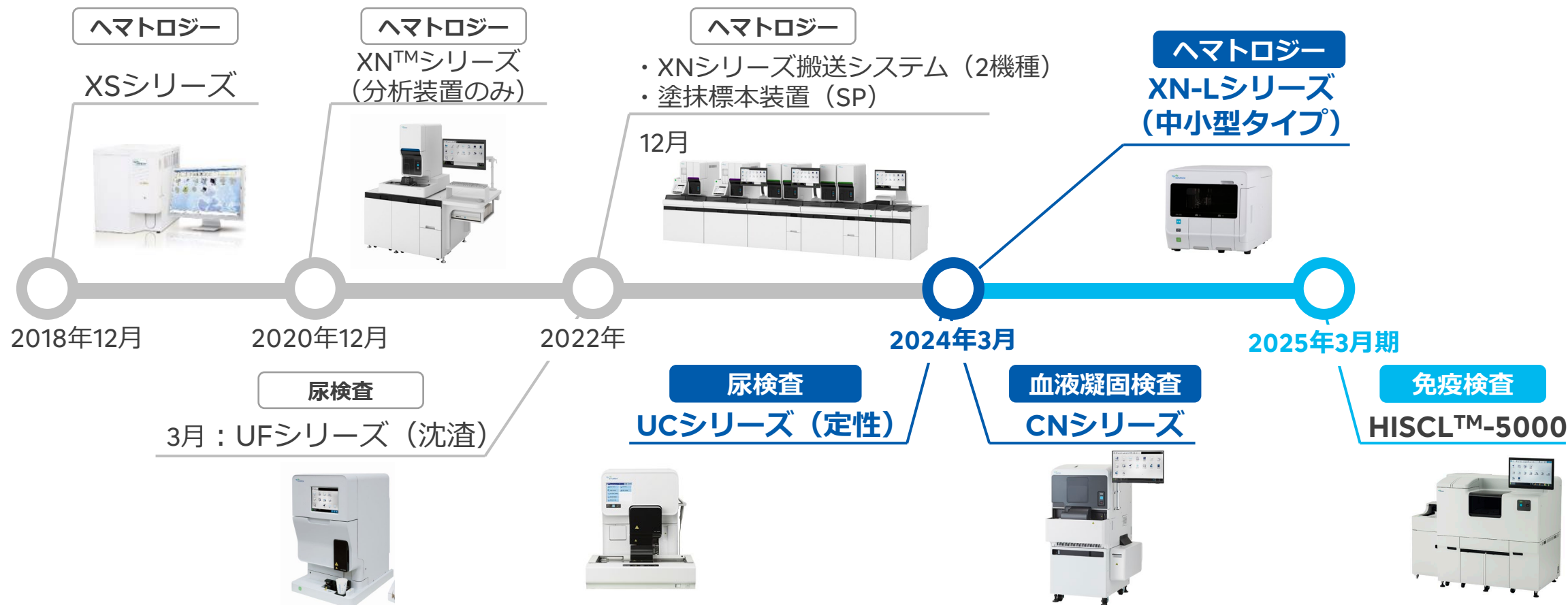


参考：中国への生産移管スケジュール

ヘマトロジー・尿・血液凝固分野における生産移管が完了

生産移管完了（9機種）

生産移管予定

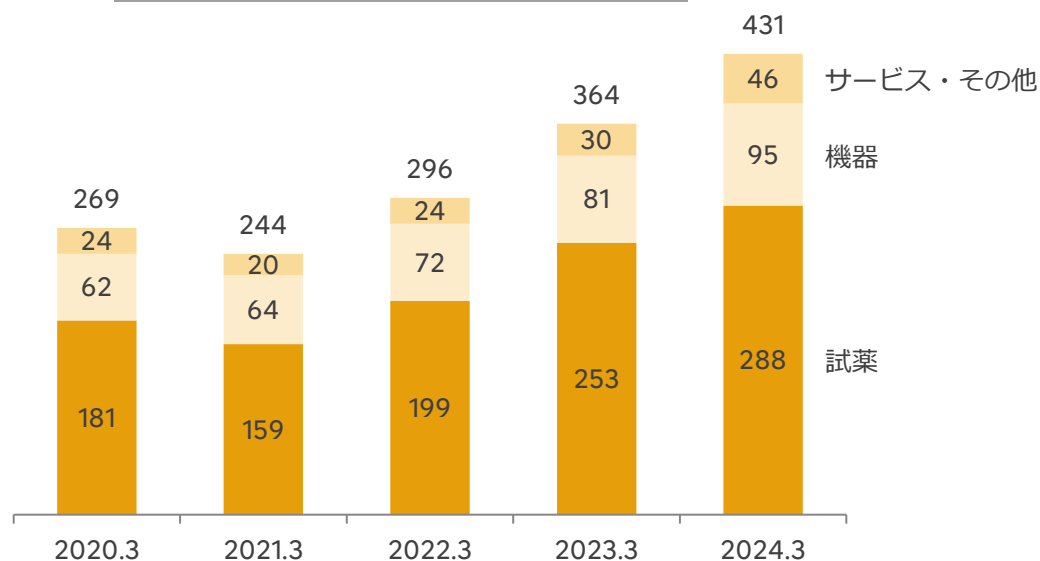


AP（地域別）

	2024年3月期	前年同期	前年同期比
(億円)			円ベース
売上高	431.0	364.8	118.1% (113.1%)
機器	95.3	81.0	117.7%
試薬	288.9	253.3	114.0%
サービス・その他	46.7	30.4	153.5%

*()は為替の影響を除いた場合

売上高推移（億円）



インドや韓国、フィリピンなど東南アジアにおいて、ヘマトロジー分野が伸長した他、医療インフラ投資の継続もあり、2桁増収を達成

● 機器

- ✓ インドにおける直接販売効果や台湾などにおけるXR™シリーズ販売開始により、ヘマトロジー分野が伸長
- ✓ タイやマレーシアなど東南アジアおよび韓国において尿・血液凝固・免疫分野が好調に推移

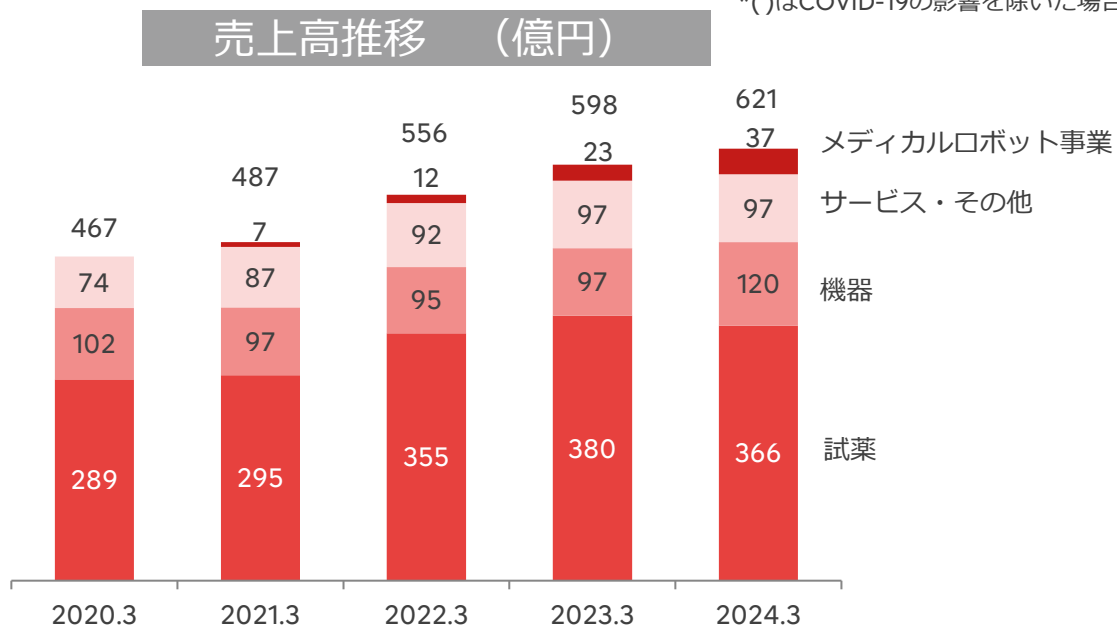
● 試薬

- ✓ 機器設置台数の増加に伴い、インドやオーストラリア、韓国を中心にヘマトロジー分野が好調に推移
- ✓ 機器設置台数の増加およびユニーク項目（肝線維化マーカー：M2BPGi）の販促活動により免疫分野が大幅に伸長するなど、全分野で増収

日本（地域別）

(億円)	2024年3月期	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	621.8	598.3	103.9% (109.9%)
ダイアグノスティクス事業	584.3	574.9	101.6% (107.6%)
機器	120.8	97.4	124.0%
試薬	366.3	380.0	96.4% (105.0%)
サービス・その他	97.2	97.5	99.7%
メディカルロボット事業	37.4	23.3	160.5%

*()はCOVID-19の影響を除いた場合



COVID-19関連検査需要が減少も、ヘマトロジー・尿分野を中心に機器が伸長。メディカルロボット事業の伸長もあり増収

ダイアグノスティクス事業

● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野のXRシリーズや尿分野の中小規模施設向け製品（UF-1500）が好調に推移し、対前年20%を超える伸長。

● 試薬

- ✓ XRシリーズの設置台数増加や血液凝固分野における血栓項目の採用拡大も、COVID-19関連検査需要の減少（△29.9億円）により、減収

メディカルロボット事業

- ✓ 今期導入台数：20台、累計台数：55台
- ✓ 導入台数および症例数の増加に伴い、サービス・消耗品（鉗子など）の売上が増加

メディカルロボットの実績

ハンドクラッチ対応などの顧客ニーズへの対応および診療科適応拡大もあり、
導入台数・症例数ともに順調に増加

導入台数 (2023.3→2024.3)

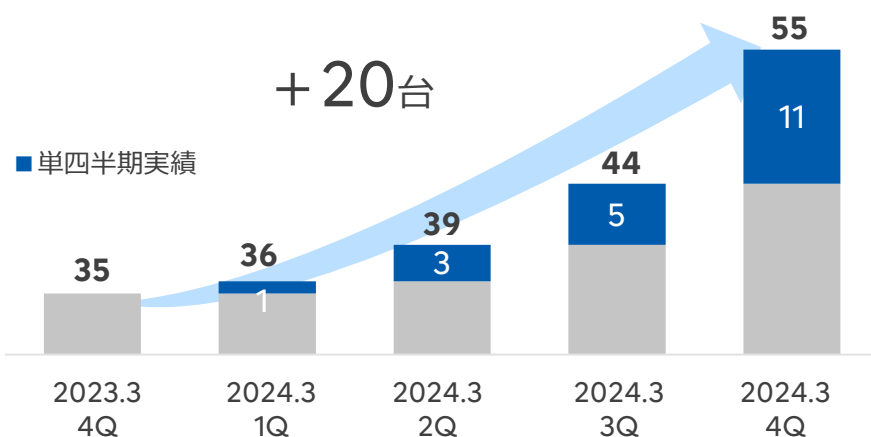
35台 ▶ **55**台

※サーティフィケート発行 291名 → **740**名

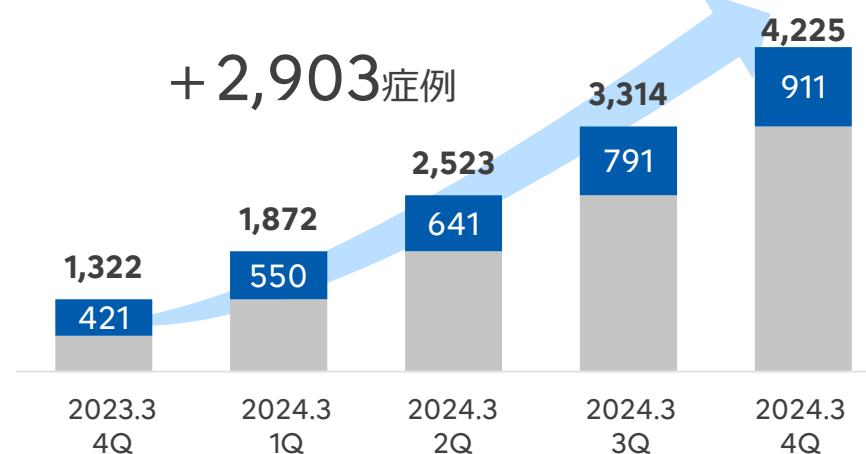
症例数 (2023.3→2024.3)

1,322 症例 ▶ **4,225** 症例

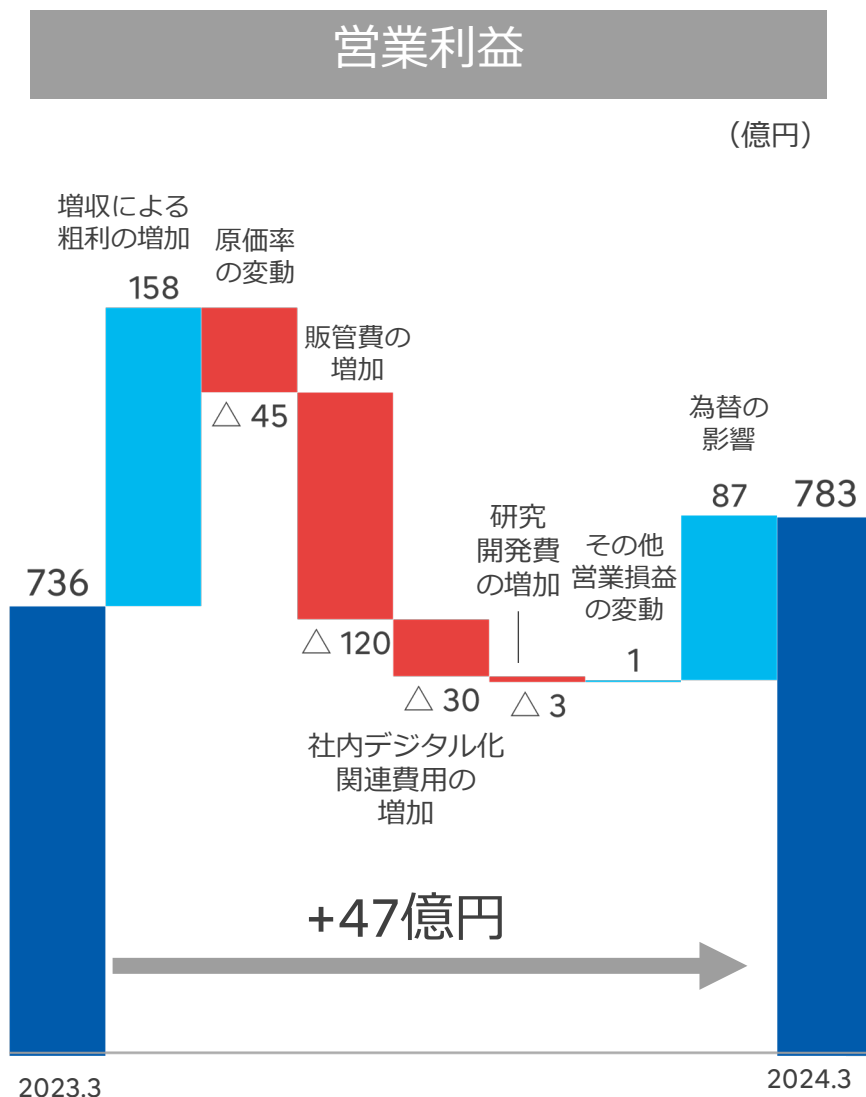
累計導入台数



国内累積手術数推移



営業利益の増減要因



※下記数値・コメントは為替の影響を除く

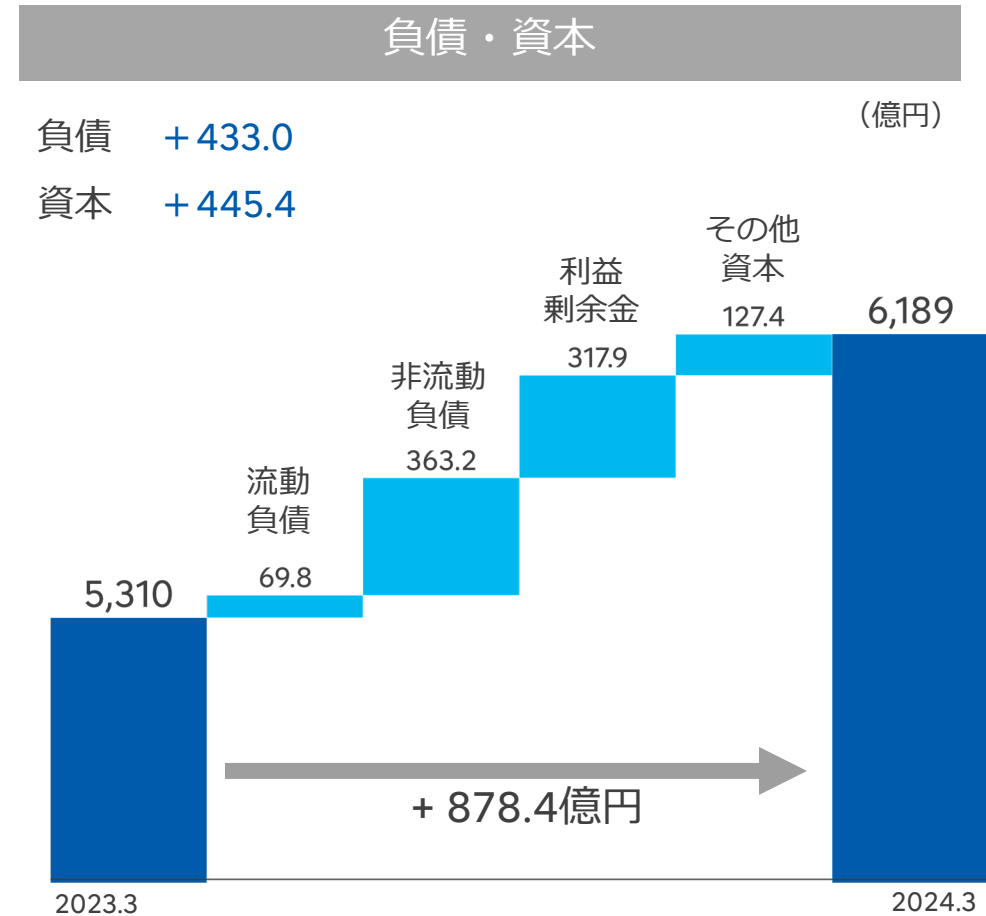
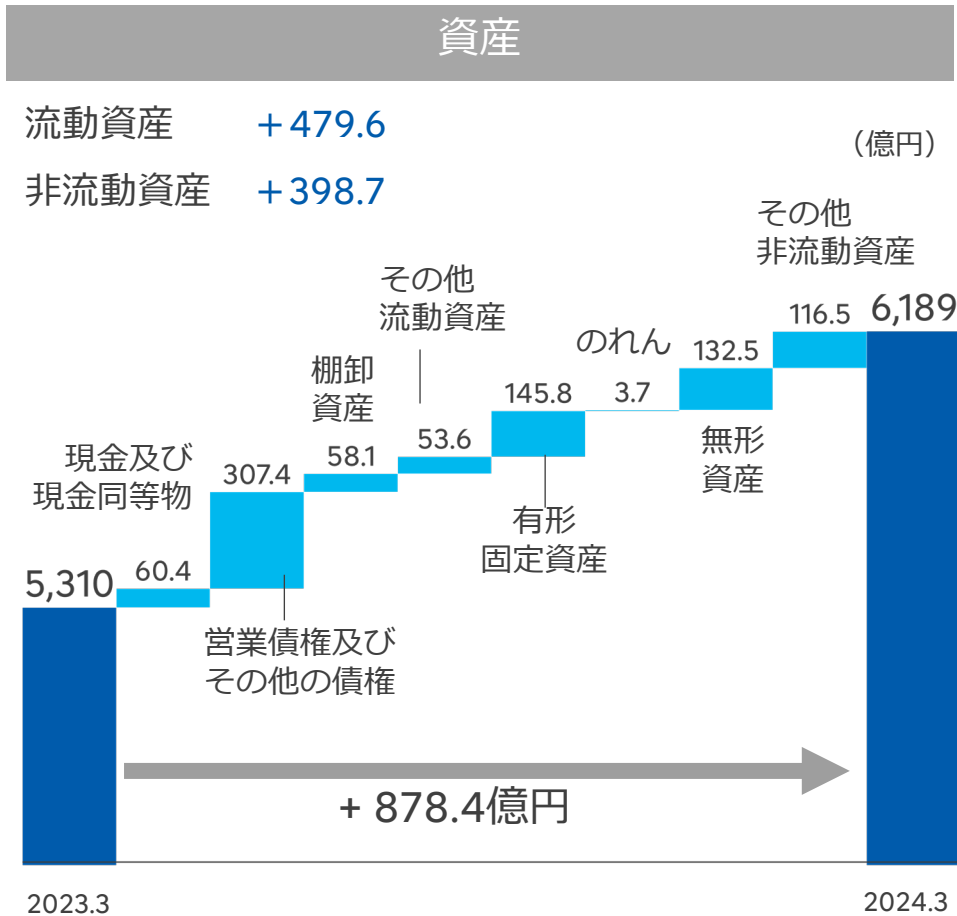
- 増収による粗利の増加：+158.4億円
 - 原価率変動による影響：△45.4億円（1.0pt 悪化）
 - ✓ 改善要因：輸送費高騰の緩和 0.2pt、プロダクトミックス 0.2pt
 - ✓ 悪化要因：製品等の原価悪化 1.0pt、サービスコスト 0.4pt
 - 販売管理費の増加：△120.8億円
 - ✓ 労務費：直販に伴う人員増加やインフレ影響による増加：約77億円
 - ✓ 経費：規模拡大や販促活動による増加：約41億円
 - 社内デジタル化関連費用の増加：△30億円
 - 研究開発費の増加：△3.4億円
 - ✓ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
 - その他営業損益の変動：+1.1億円
-
- 為替の影響：+87.0億円

連結財政状態計算書の増減要因

資産：直販化を含む売上拡大・為替影響により、営業債権及びその他の債権が増加

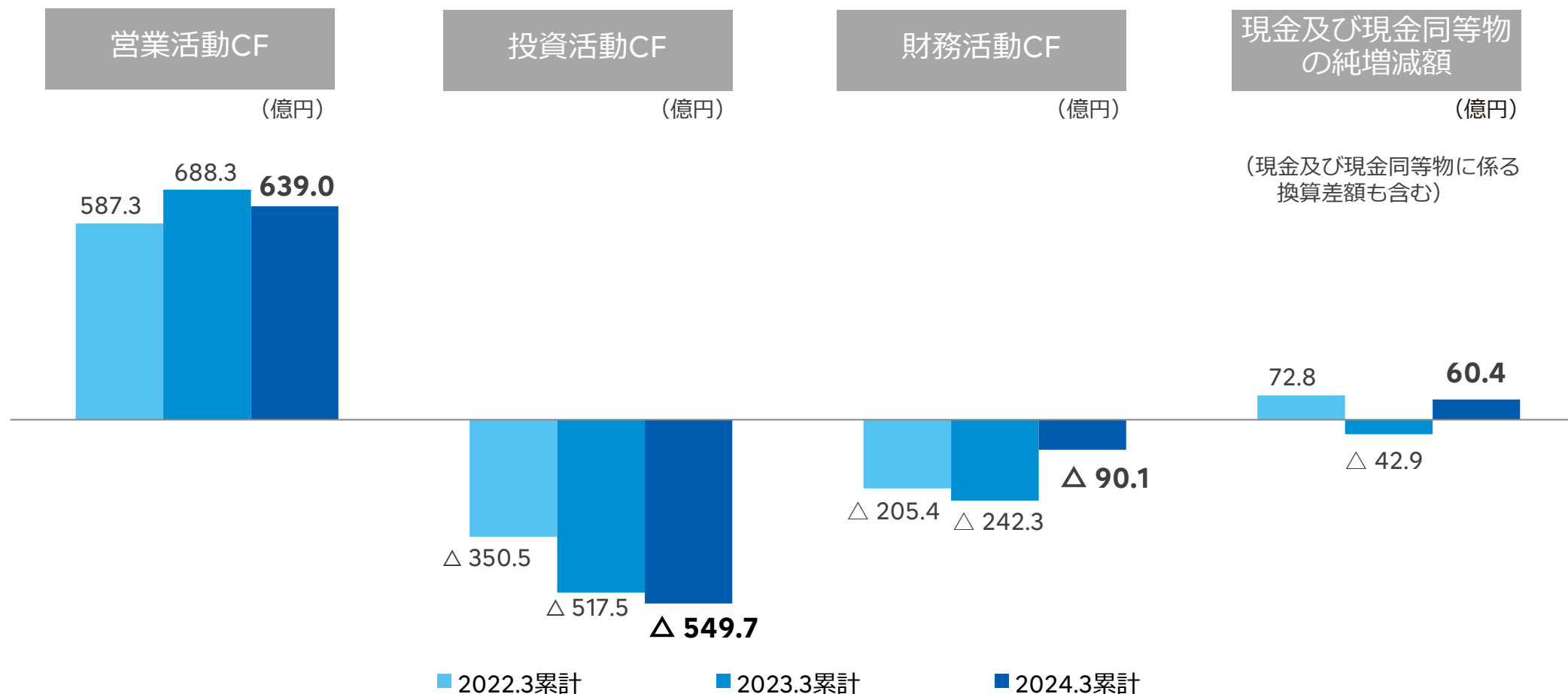
負債：銀行借入により非流動負債を中心に増加

資本：ESOP信託による自己株式取得も、利益剰余金の増加などにより増加



キャッシュフローの推移

営業活動CF：利益が増加したものの直販化を含む売上拡大により運転資本が増加した影響で減少
投資活動CF：社内デジタル化、新興国の拠点整備など積極的な投資により投資活動CFが増加
財務活動CF：ESOP信託による自己株式取得したものの、銀行借入の影響によりキャッシュアウトが減少



2024年3月期配当（案）

- 期初予想から配当額は変更なし

	中間	期末	年間	配当性向
2023年3月期	40円	42円 創立55周年 記念配当(2円)含む	82円	37.5%
2024年3月期 (案)	42円	42円※	84円	35.4%

※2024年3月の期末配当は、株式分割前の株式を対象に実施
第57期定時株主総会に付議する予定

3

成長戦略の進捗と取り組み

～ 新興国戦略・既存事業の強化・新規事業の拡大 ～

大幅な成長が見込まれる市場に積極的に投資し、機能強化

インド売上高推移 (億円)

伸長率+33%
(23.3→24.3)

54

72

90

100

2023.3

2024.3

2025.3

2026.3

中計目標

ブラジル売上高推移 (Million USD)

伸長率+30%
(23.3→24.3)

23

30

40

40

2023.3

2024.3

2025.3

2026.3

中計目標

META売上高推移 (Million EUR)

伸長率+17%
(23.3→24.3)

126

148

162

180

2023.3

2024.3

2025.3

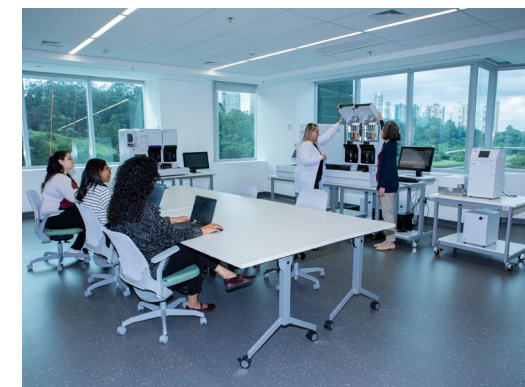
2026.3

中計目標

*META : Middle East, Turkey, Africa地域



インド新生産拠点



ブラジルトレーニングセンター

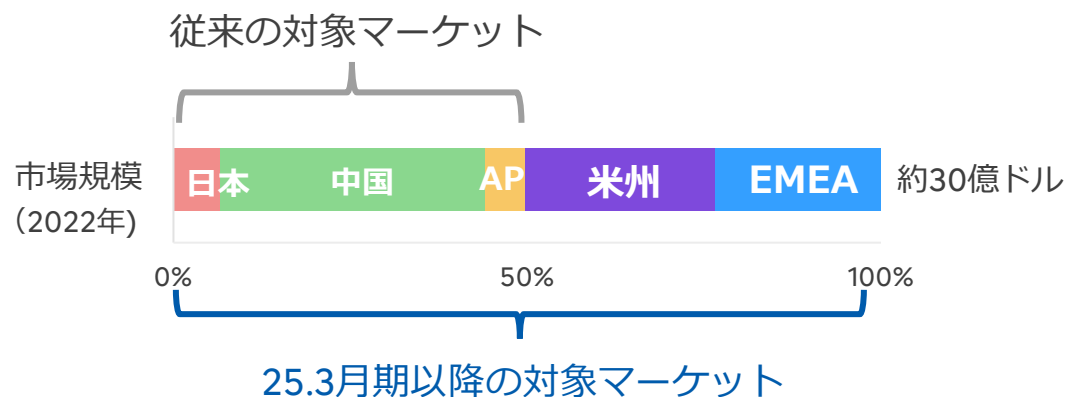


トルコトレーニングセンター

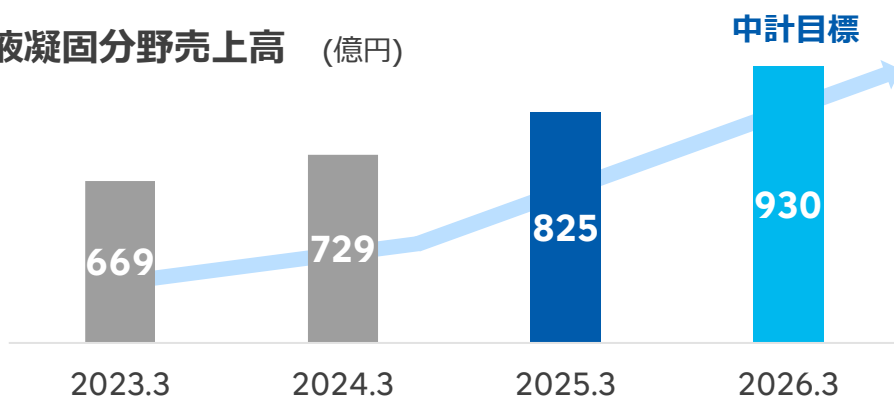
既存事業の強化（血液凝固分野）

米国・欧州での販売開始に向けた体制整備完了、2024年4月より販売活動開始

①対象マーケットが約2倍、高伸長を期待



血液凝固分野売上高 (億円)



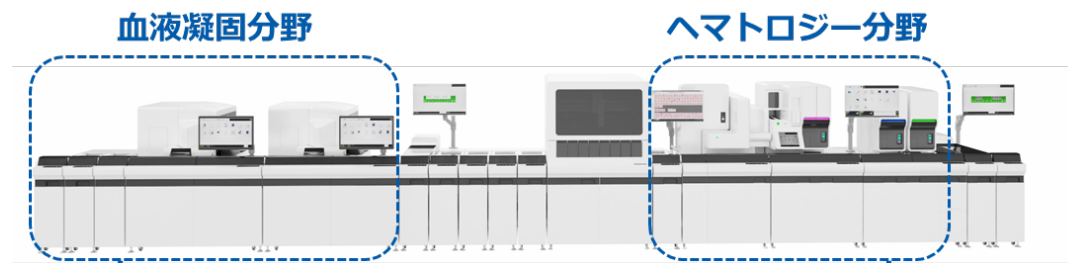
②欧米地域のさらなる収益性向上

- ✓ 機器のみの販売から、利益率の高い試薬、強みであるサービス&サポートを提供



③ヘマトロジー分野の資産の活用・強みの融合

- ✓ 既存の人員、医療機関への販路・サービス網の共通化（一人当たりの生産性が向上）
- ✓ 既存のヘマトロジーユーザーへシステム拡張案件として提案



免疫分野・ライフサイエンス：次の収益の柱とするための取り組み

免疫分野

● 富士レビオHDとの業務提携

免疫分野における研究・開発・生産・臨床開発・販売などの多面的な協業

- ✓ HISCL向け試薬項目開発
（アルツハイマー検査のパネル化を含む）
- ✓ その他の協業可能性

● アルツハイマー病検査

- ✓ 日本：薬事承認済、保険点数取得に向けた活動
- ✓ 米国：大手検査センター（Labcorp）LDT向け
- ✓ 欧州：薬事承認取得、販売準備

ライフサイエンス

ピボットを実施

● OSNA・PCR・FISH

収益最大化に向けて、取り組みを推進
（他社との協業可能性を含む）

● リキッドバイオプシー

収益化に向けて、開発資源を集中
（BEAMingからPSSへ）

● CEシーケンサー

日立ハイテックと共同開発

新規事業の拡大（メディカルロボット事業）

日本の大学・基幹病院への導入、グローバル展開開始など、新たなフェーズへ

● hinotoriの導入状況

- ✓ 全国の大学病院、基幹病院への導入が着実に進む



● 診療科の適用拡大

泌尿器科	消化器外科	婦人科
呼吸器外科	心臓外科	耳鼻咽喉科

- ✓ 呼吸器外科の適応により、32術式中28術式に対応
- ✓ 日本のロボット支援下手術数の90%超をカバー

● 鉗子の拡充

- ✓ 20回使用可能な鉗子の市場導入による競争力強化

● 海外展開計画

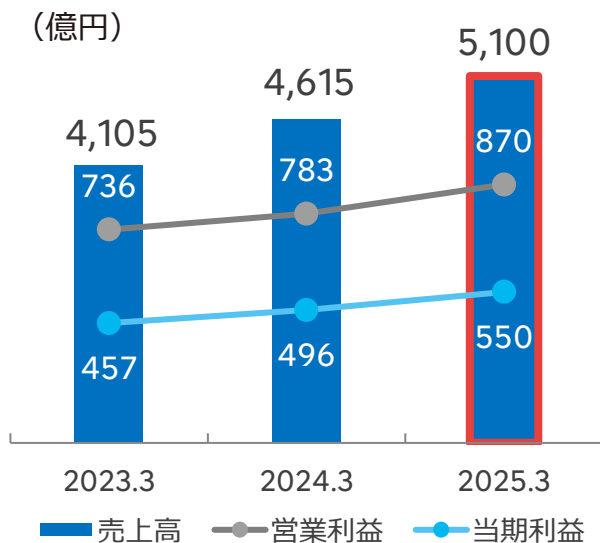
- ✓ 2024年3月期 シンガポールでの認可
- ✓ 2025年3月期 アジアへの展開、欧州への薬事申請
- ✓ 2026年3月期 欧州への市場参入、FDAへの薬事申請
- ✓ 2027年3月期 米州市場への参入開始

4. 2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想

(億円)	2025年3月期		2024年3月期		伸長率
	予想	構成比	実績	構成比	
売上高	5,100	100.0%	4,615.1	100.0%	+10.5%
売上原価	2,370	46.5%	2,190.1	47.5%	+8.2%
販売費及び一般管理費	1,519	29.8%	1,337.9	29.0%	+13.5%
研究開発費	350	6.9%	314.0	6.8%	+11.5%
営業利益	870	17.1%	783.8	17.0%	+11.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	550	10.8%	496.3	10.8%	+10.8%

投資計画	設備投資 500億円	減価償却費 400億円
------	------------	-------------



● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (24年3月期)
1 USD	147.0円	144.6円
1 EUR	158.0円	156.8円
1 CNY	20.4円	20.1円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	8.0億円	1.4億円
EUR	5.5億円	1.0億円
CNY	57.5億円	42.1億円

● 売上高の伸長要因

- ✓ XRシリーズの上市効果（日本、EMEA、中国、AP）
- ✓ 欧米：血液凝固分野の販売開始
- ✓ 米州：ヘマトロジー分野の機器を中心に受注好調
- ✓ EMEA：直販化した地域の伸長
- ✓ 中国：現地生産移管した製品の拡販
- ✓ AP：インドを中心とした新興国の伸長
- ✓ 日本：手術支援ロボットシステム（hinotori）の導入加速

● 原価率の改善要因

- ✓ 欧米での血液凝固試薬の販売開始
- ✓ 継続したコストダウン
- ✓ 輸送費の緩和

● 販管費の増加要因

- ✓ 社内デジタル化や人的資本への投資
- ✓ 売上拡大に伴う費用の増加

● 営業利益

- ✓ 増収や原価率低減による粗利益の増加
- ✓ 下期の割合が高い見通し

参考：2025年3月期（事業・分野別・地域別売上高）

事業・分野別売上高

（億円）

	2025年3月期	伸長率
ヘマトロジー	3,030	+10.2%
FCM検査	50	+50.7%
尿検査	425	+8.9%
血液凝固検査	825	+13.1%
免疫検査	250	+5.7%
生化学検査	35	+3.6%
ライフサイエンス	215	+ 4.8%
その他	210	+ 4.8%
ダイアグノスティクス事業	5,040	+ 10.1%
メディカルロボット事業	60	+ 60.2%
合計	5,100	+10.5%

地域別売上高

（億円）

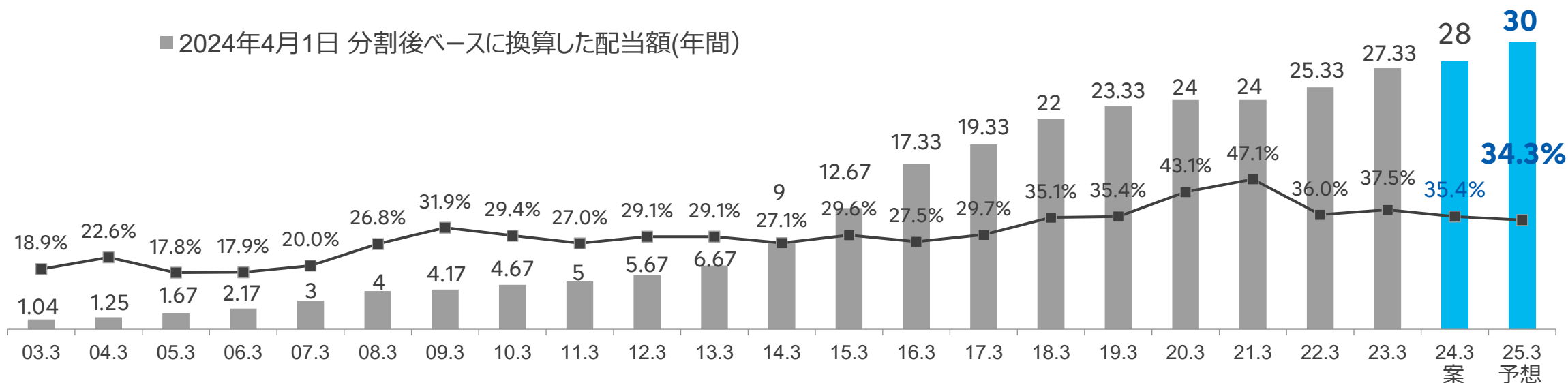
	2025年3月期	伸長率
日本	665	+6.9%
米州	1,315	+10.7%
EMEA	1,390	+9.0%
中国	1,210	+10.0%
アジア・パシフィック	520	+20.6%

2025年3月期 配当予想

2円増配し、年間30円を予定（分割前ベースでは6円増配）

株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

(円)



5. 資本コストを意識した経営の取り組み

資本コストを意識した取り組みの方向性

当社のサステナビリティ経営の観点

- 持続的企業価値向上に資する仕組みの組織への定着
 - ✓ 当社の特性に合った取り組み
 - ✓ シンプル、納得感
 - ✓ 環境変化への柔軟な対応、ブラッシュアップ

社会からの期待

- 資本コストを上回る資本収益性の実現
 - ✓ 経営資源の適切な配分
 - ✓ 適切な開示、ステークホルダーとの対話
 - ✓ 持続的な取り組み、ブラッシュアップ

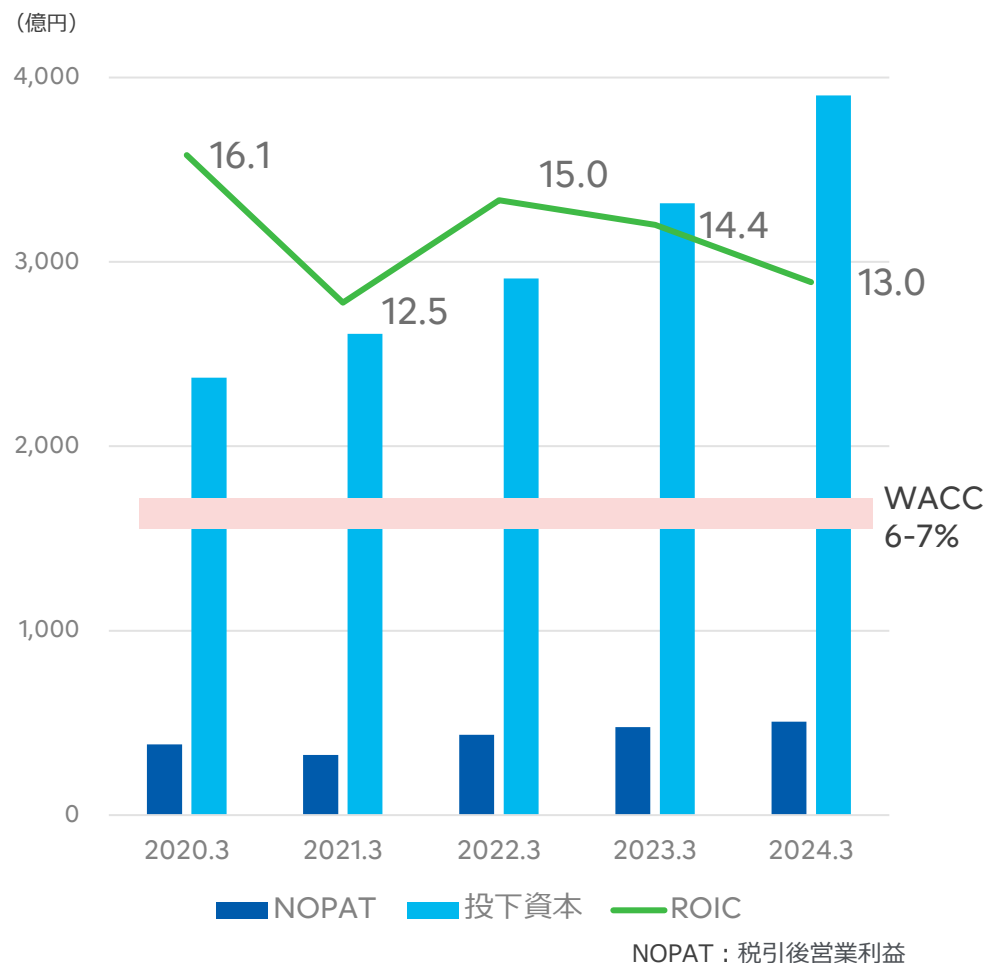
①「ROIC感応度マネジメント」の導入

ROICに影響が大きいドライバーの選定および改善に向けた取り組み

②「戦略・投資バランスマネジメント」の強化

将来に向けた投資のより適切な配分マネジメント

ROICはWACCを上回る水準で推移しているものの、持続的な成長に向けた積極投資によりNOPAT伸長以上に投下資本が増加



- COVID-19パンデミックの影響を大きく受けた2021年3月期を除けば、直近数年間の連結ROICは13-16%で推移
- 投下資本のCAGR（2020年3月期 - 2024年3月期）は+13.3%
主な増加要因
 - ✓ 運転資本の増加 CAGR:+23.2%
 - 売上拡大及び円安による営業債権・棚卸資産の増加
 - ✓ 無形資産の増加 CAGR:+21.7%
 - 社内デジタル化投資
 - 製品ソフトウェア・ITソフトウェア

① 「ROIC感応度マネジメント」の導入

各ドライバーの変動がROICに与える影響を「ROIC感応度」として定義し、モニタリング、主要ドライバーの選定、改善アクションを実施

従来

各ドライバー個別に改善

2025年3月期の取り組み

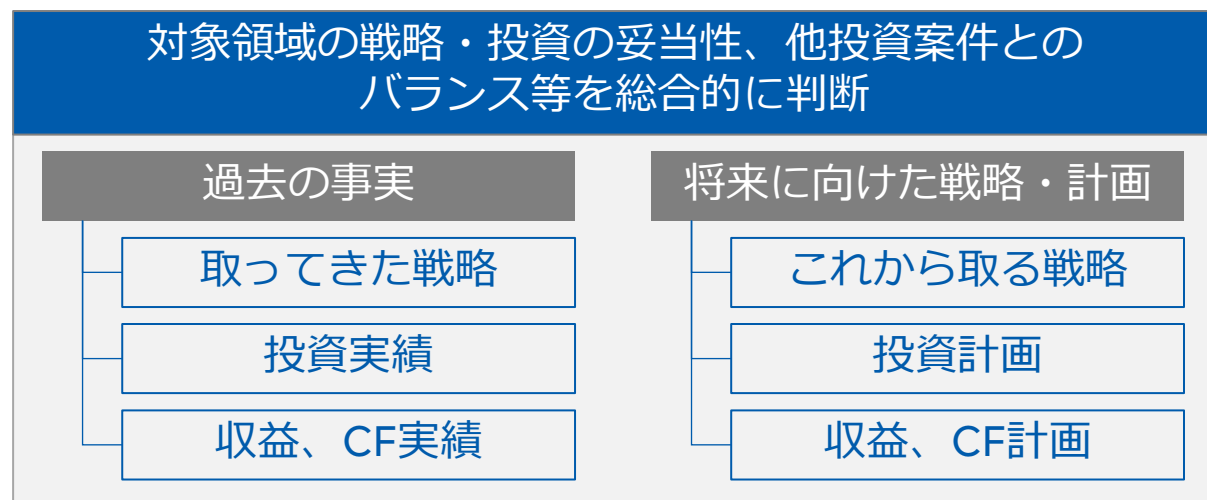
「ROIC感応度」を活用し各ドライバーとROICを連携

- ✓ 当社にとって効果的なドライバーの選定
- ✓ モニタリングと改善アクションによる社内浸透
- ✓ 各部門においてROICを意識した活動を推進

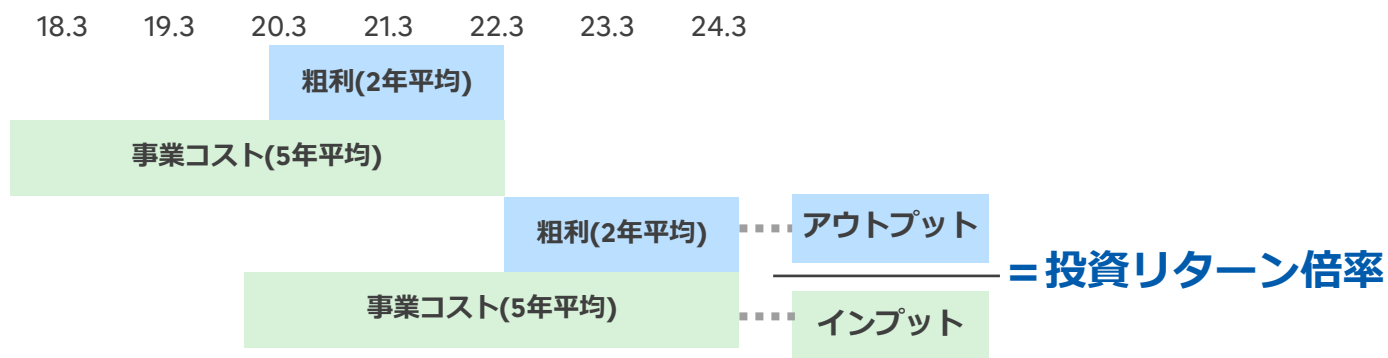
2024.3期 ROICドライバー実績

プラスインパクト	対前年変動	ROIC インパクト
物流費率	△0.2%	+0.15pt
経費率	△0.2%	+0.13pt
廃棄評価減率	△0.1%	+0.12pt
有形資産回転数	+0.1	+0.11pt
マイナスインパクト	対前年変動	ROIC インパクト
労務費率	+0.8%	△0.63pt
サービスコスト率	+0.5%	△0.38pt
無形資産回転数	△0.5	△0.22pt
減価償却費率	+0.2%	△0.21pt
売掛金回転日数	+3.1	△0.13pt
買掛金回転日数	△2.5	△0.11pt
その他非流動資産回転数	△0.5	△0.08pt
棚卸資産回転日数	+0.1	△0.01pt
のれん回転数	△0.4	△0.01pt

② 「戦略・投資バランスマネジメント」の強化



「投資リターン倍率」の指標を追加

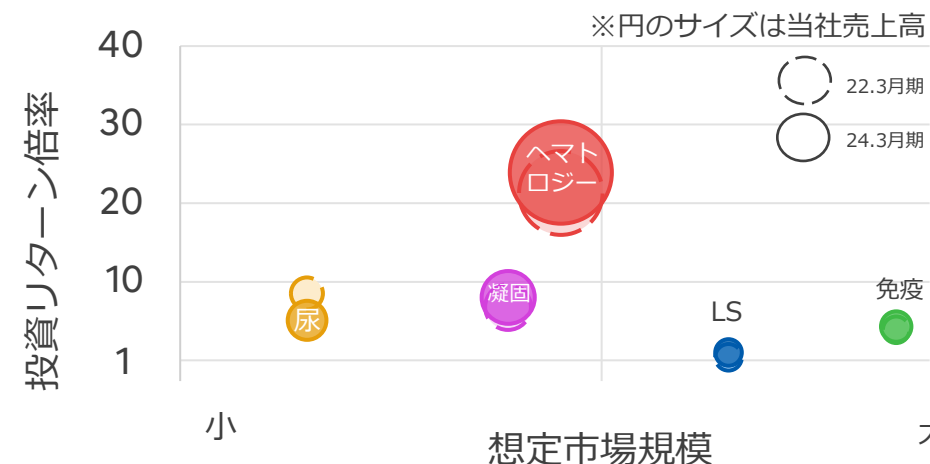


※事業コスト：対象領域の事業部門販管費、研究開発費、設備投資、M&A、投資有価証券の合計

全事業合計の投資リターン倍率推移



各分野の投資リターン倍率実績



※LSは分子診断領域のみ

(補足資料)

トピックス（2024年1月～4月）

ダイアグノスティクス事業

- 株式会社日立ハイテクと新たな遺伝子検査システムの共同開発に向けて合意（日本）
- 「HISCL™ TARC試薬」および「HISCL™ ANP試薬」の自社製造を開始（日本）
- 婦人科・性腺ホルモンの免疫検査パネル6項目を販売開始（日本）
- イタリアにおける事業拡大に向けて、直接販売・サービス体制を強化（EMEA）
- 米国およびEU諸国でシスメックスブランドによる血液凝固検査関連製品の販売開始

メディカルロボット事業

- 手術支援ロボット「hinotoriサージカルロボットシステム」呼吸器外科適用について承認取得（日本）

サステナビリティ（通期）

- 従業員向け信託型株式報酬制度（ESOP）を導入
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に8年連続選定
- 「Global 100」（世界で最も持続可能な企業100社）に5回目の選出

XRシリーズ（ヘマトロジー分野）導入スケジュール

EMEA XRシリーズおよび検体搬送システム商品群（BT-50など）を販売開始（2023年7月）

日本 2022年7月よりXRシリーズを販売開始

AP 2024年3月期3QよりXRシリーズを販売開始

中国 2024年3月期4QよりXRシリーズを販売開始

米州 BT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2025年3月期より販売開始予定



XRシリーズと検体搬送システムの接続イメージ



Together for a better
healthcare journey